

2024年8月10日(土)14:00~

『未来への遺言』刊行記念 トークイベント&サイン会

保阪 正康 × 前田 浩智

(ノンフィクション作家)

(毎日新聞社主筆)



世界で争いが続く中、来年、日本は第二次世界大戦終結から80年という重要な節目を迎えます。戦争の記憶が薄れつつある現代において、戦争の実相を改めて語り継ぐことが必要です。

この度、特別トークイベントを開催し、膨大な戦争証言を基に昭和史を編み続けたノンフィクション作家・保阪正康先生と、毎日新聞社主筆・前田浩智さんをお招きします。この度発売された『未来への遺言』(晶文社刊)に基づき、戦争に至った背景から現在の日本の状況までを深く掘り下げ、戦争を知ることの重要性と平和への道筋を明らかにします。

本イベントを通じて、多くの方々に戦争の実相を知っていただきたいと思います。そして、戦争を経験していない世代にとって、平和への理解と決意を深めるきっかけとなることを願っています。

※トークイベント終了後、保阪正康先生のサイン会を行います。サイン会の対象書籍は、『未来への遺言』(晶文社)、『失敗の本質 日本海軍と昭和史』(毎日新聞出版)、『松本清張の昭和史』(中央公論新社)、『近代日本の地下水脈 1 哲学なき軍事国家の悲劇』(文藝春秋)の4冊です。

【講師紹介】

保阪 正康(ほさか・まさやす)

1939年札幌市生まれ。ノンフィクション作家。昭和史の実証的研究を志し、延べ4000人もの関係者取材してその肉声を記録してきた昭和史研究の第一人者。「昭和史を語り継ぐ会」主宰。個人誌『昭和史講座』を中心とする一連の研究で第52回菊池寛賞を受賞。『ナショナリズムの昭和』(幻戯書房)で第30回和辻哲郎文化賞を受賞。『昭和史 七つの謎』(講談社文庫)、『あの戦争は何だったのか』(新潮新書)、ほか著書多数。



前田 浩智(まえだ・ひろとも)

1960年北海道生まれ。毎日新聞社主筆。93年に毎日新聞社の政治部記者となり、当時の森喜朗自民党幹事長を担当。首相官邸、自民党、公明党、厚生労働省、外務省などを受け持ち、細川護熙政権以降の中央政界取材した。小泉純一郎政権では首相官邸キャップ。政治部長、編集編成局次長、論説委員長を歴任し、2021年から主筆。日本記者クラブ理事長も務める。



☆会場…9階イベントスペースにて。定員60名。入場料2,000円。(イベント当日受付でお支払い。)

☆予約…事前のご予約が必要です。1階サービスカウンターもしくは電話にてご予約承ります。

☆トークセッション当日の開場は、開演時間の40分前からとなっております。

ジュンク堂書店 池袋本店

TEL: 03-5956-6111